摂食嚥下5期モデル 観察・記録シート

食事場面の所見を整理し、次の評価・対応につなげる

患者ID：	評価日： 年 月 日	評価者：

01 食事前の確認・観察条件

確認した項目： ☐ 覚醒 ☐ 呼吸 ☐ 姿勢 ☐ 口腔内 ☐ 分泌物処理 ☐ 経口摂取の指示・条件		
懸念・未確認事項： ☐ 経口観察なし		
食形態・とろみ	一口量	摂取ペース
体位・頭頸部	介助方法	食事時間

02 5期別の観察所見 （所見は複数選択可）

段階	観察項目	観察結果・具体的所見
先行期 認識・開始	☐ 認知・注意の問題 ☐ 開始困難 ☐ 食具操作・ペース調整の問題	☐ 所見あり ☐ 明らかな所見なし ☐ 未観察・評価困難
準備期 食塊形成	☐ 取りこぼし ☐ 咀嚼不良 ☐ 食塊形成不良 ☐ 頬部残留	☐ 所見あり ☐ 明らかな所見なし ☐ 未観察・評価困難
口腔期 食塊移送	☐ 送り込み遅延 ☐ 舌の反復運動 ☐ 口腔内保持・残留	☐ 所見あり ☐ 明らかな所見なし ☐ 未観察・評価困難
咽頭期 通過・気道防御	☐ むせ・咳 ☐ 湿性嗄声 ☐ 複数回嚥下 ☐ 呼吸変化	☐ 所見あり ☐ 明らかな所見なし ☐ 未観察・評価困難
食道期 胃への移送	☐ つかえ感 ☐ 逆流・胸焼け ☐ 食後の咳 ☐ 嚥下時痛	☐ 所見あり ☐ 明らかな所見なし ☐ 未観察・評価困難

03 食事前半・後半・食後の比較

観察項目	前半	後半	食後
骨盤・体幹・頭頸部			
呼吸・疲労			
嚥下関連所見			

04 総合所見・中断・次の対応

疑う段階（複数可）： ☐ 先行期 ☐ 準備期 ☐ 口腔期 ☐ 咽頭期 ☐ 食道期 ☐ 不明
根拠・関連する条件：
対応： ☐ 指示範囲内で継続 ☐ 一時中断 ☐ 中止・相談 ☐ 緊急対応
中断理由・回復状況：
次の評価・相談先・申し送り：

※ 診断・採点尺度ではありません。確認済み・所見なしは安全を保証しません。経口観察は施設手順・個別指示に従い、むせや呼吸・覚醒の変化時は中断して確認します。窒息が疑われる場合は直ちに応援を要請し緊急対応へ。むせがなくても誤嚥は否定できません。